

だい 3 5 かいみやまえ ちくせいしょうねんさくひんでん 『しょどう ぶ』 こうひょう

作品展の開催、おめでとうございます。みなさんの作品に元気をいっぱいもらいました。まるで、秋晴れの空のようなさわやかな気分です。「よし、書くぞ!」と静かな気合いを胸に、無心に筆を動かす様子が思い浮かびました。

低学年のみなさんの課題文字は「かわさき」でした。みなさんが住んでいるまちです。ここで暮らし、いろいろな人と出会い、育つのです。そんな思いに心をこめて書けましたか。どの文字も大きく筆を動かし、次の画につながるように意識して書くと、用紙の白い部分である余白が生まれます。それが筆文字をゆったりと柔らかく感じさせるのです。明るい作品になりますよ。どの作品も体全体を使って大きくのびやかに書かれていました。がんばりましたね。

中学年のみなさんは、「大きな夢」という言葉に挑戦しました。大きな夢に胸をふくらませ、進んでいこうという明るい気持ちがあがってきます。みなさんにはどんな夢がありますか。作品には、漢字の「大」「夢」の思いをのせて書かれたものがたくさんありました。文字のはらいにはスケールの大きさが感じられました。行の中心がとりづらい課題でもあります。前の文字を見て位置を決めましょう。平仮名は余白を大切に、漢字のもつ意味をつないでいきましょう。

高学年のみなさんは「希望の風」という課題でした。明るい明日、未来に吹く風は、どんな風でしょう。さわやかに吹き渡る風を感じて書けましたか。その風を起こすのは、あなた自身なのです。「風」にぜひ自分らしさを発揮して表現してもらいたいと感じました。さすが高学年は、文字の組立てがしっかりしています。「希望」のバランスがよくとれていました。画数の多い文字ですが、全体として引き締めて書くことができました。「希望」と「風」をつなぐ「の」の配字も大切です。

中学生の作品は、ぜひ小学生のみなさんにも見ていただきたいと思います。全体の構成、調和が見事です。筆づかいも、次の画につながる意識があり、文字全体に流れを生み出しています。きっと「こんなふうにする作品が書けるようになりたい。」とあこがれますよ。課題文字の「環境を守る」は、地球規模の問題です。書道の作品を通してメッセージを届けることもできるのではないのでしょうか。書は表現方法の一つです。これからも自分の思いを伝える作品を書いてください。

みなさんに大切にしてほしいことがあります。言葉に思いをのせることです。言葉からどんなことを想像し、自分はどんな思いをもち、見る人に届けたいのか、自分の意思をもって主体的に書いてください。言葉は生きています。命を吹き込むのは、あなたです。そして、よい作品にたくさんふれてください。心が豊かになりますよ。応募してくれたみなさんのますますの活躍を期待しています。